

令和元年度（平成 31 年度） 事業報告について

【令和元年度（平成 31 年度）事業の概括】

国が目指している「地域共生社会」を実現するための取り組みの方向性を意識しながら、「“こうべ”の市民福祉総合計画 2020」と連動した「“こうべ”の社会福祉協議会中期活動計画 2020」や、「やさしさと思いやりのまち 兵庫」を目指した区計画とも連携し、以下の 2 本柱の事業方針のもと、重点事業を定め取り組みを行った。

I つながり、支え合う福祉のまちづくりの推進

- 自治会、婦人会、民生委員児童委員協議会、ふれあいのまちづくり協議会などの地域住民組織や、社会福祉施設、あんしんすこやかセンター等の専門機関をはじめとする多様な地域関係者の連携と協働のもとで、身近な地域でのつながりづくりや支え合いなどの地域福祉活動を推進した。
- 複雑・多様化する福祉ニーズや制度の狭間の福祉課題を、地域福祉ネットワークを中心とした区社協の総合力で受け止め、関係団体・機関、ほっとかへんネットワーク兵庫に参画する社会福祉法人等との連携・協働により課題の解決を図るとともに、地域における支え合いのしくみづくりを進めた。
- 児童、障がい者、高齢者の垣根を越えたつどいの場や、課題を抱える区民が社会とつながり役割や生きがいを感じられるような居場所づくりを多様な地域関係者と連携して進めるとともに、居場所への参加を後押しするような取り組みの充実を図った。

II 地域で支える福祉の心づくり、人づくり

- 区民の福祉に対する関心を高め、理解を深めていく取り組みをイベント等における啓発活動や様々な媒体を通じた広報活動を通じて、あらゆる世代に積極的に働きかけた。
- 区の将来像である「やさしさと思いやりのまち 兵庫」の実現を目指した取り組みを進めるとともに、情報発信や参加機会の工夫・充実に努め、区民が気軽に参加できるようボランティア活動の推進を図った。

また、共同募金や善意銀行など、自主財源の減少に伴い、効果的・効率的な事業推進が可能となるよう助成事業をはじめとする既存事業の見直しを進めた。

なお、令和 2 年 2 月下旬以降は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、一部事業の中止・延期の措置をとった。

【事業実施状況】



表示のある事業は、赤い羽根共同募金や歳末助け合い募金からの助成金が活用されています。

I つながり、支え合う福祉のまちづくりの推進

1. 地域福祉の推進

(1) 「地域福祉ネットワーク事業」の実施

「地域福祉ネットワーク」が中核となって、制度の狭間や、既存の制度・サービスでは解決が困難な福祉課題について、個別の相談支援を行うとともに、分野を越えた関係機関等との連携・ネットワークにより解決にあたってきた。

また、区役所生活支援課に設置されている「暮らし支援窓口」やほっとかへんネット兵庫との連携を強化し、課題解決機能の充実を図ってきた。

① 早期のニーズキャッチと様々なネットワークによる総合力での課題解決

- ア 相談支援を行った件数 81件
うち、暮らし支援窓口との連携件数 16件
- イ 生活課題への支援延べ件数 676件
- ウ 令和元年度中に課題解決した件数 56件（前年度からの継続分含む）
- エ 具体的な取り組み事例

事例1 「ほっとかへんネット兵庫」と連携した精神障がいのある方の生活環境改善

精神障がいがあり片付けができず家の内外にごみが堆積しており、近隣からの苦情と相談が区社協に入る。親の代から数十年来ごみが堆積する中で生活しており、近隣からの苦情が多い50代女性の単身世帯で、地域福祉ネットワークが生活保護担当ケースワーカーと3年間にわたり説得と促しを行う中で、本人との関係を構築し片づけに向けた合意を取り付けた。ほっとかへんネット兵庫「生活環境改善事業」の対象案件として、会員法人の参加協力と市内の社会福祉協議会職員の参加を得て、総勢43名で片付けを実施し、環境局兵庫事業所の協力を得て処分を行った。

また、片付けの実施にあたり廃棄物の仮置き場に神戸大学の協力のもと、寮の空きスペースを借用した。さらに、スタッフの着替えの場所や資材置き場として、地元地域団体の協力をいただき地域の会館を借用した。

事例2 困窮世帯への生活再建に向けた取り組み

50代単身男性。持ち家の雨漏りが気になり、シートをかけてほしいとボランティアの依頼で相談来会。老朽化した自宅は手入れが十分に行き届いておらず修繕が必要な場所が多くあり、シートは応急処置としては意味があるが、あくまで本修理までのつなぎと説明し生活状況の聞き取りを実施した。

知人に貸したお金の返済金が月3万円ありこれが唯一の収入で、就職したこと

はあるがうまくいかず平成7年以降働いていない。ガスは契約しておらず、電気もほぼ使用しない極端に支出が少ない生活を25年以上続けている。就労支援はうまくいかず、現在は就労準備支援事業に繋ぎ定着している。

② 支援プログラムの実施

緊急生活用品貸出事業

電気料金の支払いや生活必需品の購入ができないケースに対し、充電式照明等の備品の短期貸し出しを行った。

貸出品目 照明、電気ケトル、小型炊飯器

貸出件数 6ケース、延7品目

③ 区の実情、地域課題に応じた地域福祉活動の育成

「やさしさと思いやり教育」推進支援事業の一環として、区内中学生を対象に「地域福祉」プログラムを1校、「社会保障」プログラムを3校で実施した。

④ 地域福祉ネットワーク事業を円滑に進めるための取り組み

ア 区役所内での連携会議の開催・参加

a) くらし支援窓口との支援調整会議（毎月1回）

b) ケースに応じた検討会議（随時）

イ 兵庫区社会福祉法人等連絡協議会との連携

(2) 「兵庫区社会福祉法人等連絡協議会（愛称：ほっとかへんネット兵庫）」の支援

兵庫区内の社会福祉法人等の施設種別を越えたネットワークとして、連携・協働して地域公益活動を推進していくため、社会福祉法人関係者と協議を重ねるとともに、事務局として運営および活動の支援を行った。

① 会議の開催

ア 総会の開催 1回

イ 役員会の開催 3回

ウ 実務者会の開催 3回

② 総合的な相談活動

ア 福祉なんでも相談窓口相談員研修の開催

須磨区及び垂水区の社会福祉法人連絡協議会と共催で3回開催した。

令和元年6月3日（月）須磨区会場 32名（兵庫区参加なし）

令和元年6月10日（月）垂水区会場 28名（うち兵庫区 1法人 1名）

令和元年6月12日（水）兵庫区会場 25名（うち兵庫区 9法人 14名）

イ 福祉なんでも相談窓口事業の実施

a) 平野盆踊り大会

日 時 令和元年8月18日（日）

場 所 神戸祇園小学校

出務者数 6法人10名

b) 下町ふれあい夏まつり

日 時 令和元年8月24日（土）

場 所 笠松商店街

出務者数 4法人8名

③ 福祉学習に関する活動

会員法人が運営する施設の業務について学習する機会を設けた。

ア 社会福祉法人宝地院福祉会 宝地院保育園

日 時 令和元年 7 月 12 日 (金)

参加者数 14 法人 19 名

イ 社会福祉法人海光園 海光園ミラホーム

日 時 令和元年 11 月 12 日 (火)

参加者数 13 法人 22 名

④ 災害時の支援活動

災害時の支援活動に資するため、福祉避難所に関する学習会を開催した。

「命を守る その覚悟はあるか?! 災害時の福祉施設運営を考える」の開催

日 時 令和 2 年 1 月 14 日 (火)

場 所 こうべ市民福祉交流センター 201 教室

講 師 湯井 恵美子氏 (防災企業連合 関西そなえ隊事務局)

参加者数 136 名

⑤ 地域公益活動

生活環境改善事業の実施

会員法人が関係している福祉課題を抱える世帯のうち、緊急的に生活環境の改善が必要なケースで、自力では改善することが困難な世帯に対して、清掃等の支援を行い、その後の生活支援につなげることを目的に実施した。

a) ワーキングチーム審査会の開催 4 回

b) 清掃活動等の実施回数 6 回

1) 日 時 平成 31 年 4 月 4 日 (木) 9 : 30 ~ 15 : 30

場 所 兵庫区内民間集合住宅

参加者数 8 法人 25 名

2) 日 時 令和元年 7 月 3 日 (水) 9 : 00 ~ 15 : 00

場 所 兵庫区内市営集合住宅

参加者数 14 法人 28 名

3) 日 時 令和元年 7 月 17 日 (水) 12 : 00 ~ 15 : 00

場 所 兵庫区内民間集合住宅

参加者数 4 法人 7 名

4) 日 時 令和元年 7 月 31 日 (水) 9 : 00 ~ 15 : 00

場 所 兵庫区内民間戸建住宅

参加者数 10 法人 24 名

5) 日 時 令和 2 年 3 月 25 日 (水) 10 : 00 ~ 14 : 00

場 所 兵庫区内市営集合住宅

参加者数 6 法人 7 名

6) 日 時 令和 2 年 3 月 25 日 (水) 11 : 00 ~ 15 : 00

場 所 兵庫区内民間集合住宅

参加者数 4 法人 7 名

⑥ その他

- ア リーフレットの改訂
- イ 福祉避難所に関する学習会報告書発行

(3) 介護者の会「癒しの会」の開催

現に家族の看護や介護をしている方やその経験者が、介護に関する情報交換をしたり、介護の苦勞や悩みについてことばに出して話したりする活動を通じて互いに支え合う取り組みを進めるとともに、介護経験を活かした活動が展開できるよう学習の機会をもった。また、10月には「兵庫区在宅介護者のつどい」として、一般の介護者も参加できるよう拡大して実施した。

日 時 平成31年4月25日(木)、6月27日(木)、8月22日(木)、
10月24日(木)、12月12日(木)
(2月は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止)
13:00~15:00

会 場 兵庫区ボランティアルーム、みなとがわホール(10月)

延参加者 54名

2. 高齢者福祉の推進

(1) ひとりぐらし高齢者等の見守り活動への支援

① 友愛訪問活動への支援

ひとりぐらし高齢者等が、地域の中で温かく見守られながら暮らせるよう、民生委員児童委員や友愛訪問ボランティア等の地域の協力者と連携・協力して、見守り活動を推進するとともに、友愛訪問活動グループには神戸市の助成要綱にもとづき助成金を交付した。

小地域単位でのきめ細かい情報交換や支援活動の検討を行う交流会に加え、地域住民が主体となって見守りや支え合いを推進することを目的に、情報交換や活動に役立つ研修事業をあんしんすこやかセンターとの共催により開催した。

ア 友愛訪問グループ活動状況 ()内は前年度の実績

グループ数	160	(167)
対象高齢者数	1,836	(1,846)
延訪問回数	66,659	(73,826)

イ 小地域友愛訪問活動交流会の開催
開催回数 延べ 4 回

② ふれあい給食活動への支援

ふれあい給食活動グループを対象に神戸市の助成要綱にもとづき助成金を交付するとともに、衛生管理研修・助成申請事務等説明会の開催などの支援を行った。

ア ふれあい給食活動状況

グループ数	30	(30)
実施回数	341	(370)
参加延人数	11,573	(12,663)

イ ふれあい給食会グループ研修・事務説明会の開催（新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止）

(2) 高齢者見守り調査の実施

地域での見守り活動など必要な支援を行うために、70歳以上の単身世帯と75歳以上の高齢者世帯の実態調査を民生委員児童委員の協力により実施した。また、訪問調査により把握した単身世帯等について民生委員が「高齢者見守り台帳」を作成し、地域見守り活動の基礎資料とした。

郵送調査 573 世帯
訪問調査 1,096 世帯
高齢者見守り台帳(令和元年度末) 11,999 世帯(福祉情報システム登録世帯数)

(3) 地域支え合い推進事業

① あんしんすこやかルームの運営支援

あんしんすこやかセンターのランチとして、高齢化率の高い公営住宅の空き住戸などを活用して設置されている「あんしんすこやかルーム」4か所の見守り推進員4名に対し、指導・助言を行い、見守り活動やコミュニティづくり、介護予防等の事業を推進した。

また、事業を円滑に進めるため、「見守り推進員（SCS）連絡会」を毎月1回開催した。なお、ルームみさきについては設置住宅の閉鎖をもって令和元年9月30日に事業を終了した。

② 地域見守り連絡会の開催

見守り活動の課題や個別ケースの対応を検討し、地域での支え合いを推進するため、地区民児協ごとの地域支え合い連絡会を開催した。また、より小地域での地域支え合い連絡会の開催を支援するとともに、ひとりぐらし高齢者の把握を目的とした実態調査や友愛訪問グループの結成促進など見守り活動の強化を図った。

地域支え合い連絡会の開催(地区民児協ごと) 30 回
参加者 民生委員児童委員、あんしんすこやかセンター地域支え合い推進員、
区社協生活支援コーディネーター等

※ 一部地区で新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

③ 生活支援体制整備事業の実施

ア 生活支援コーディネーターの配置

生活支援コーディネーターを中心に、高齢者の総合相談窓口である区内8か所のあんしんすこやかセンターに配置されている地域支え合い推進員8名と連携し、高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう、地域での見守り活動、支え合い活動、介護予防に関する取り組みを推進するとともに、地域社会資源情報の把握に努めた。

また、各あんしんすこやかセンターと情報共有を図るため月1回開催されてい

る「あんしんすこやかセンター連絡会」に出席した。

さらに、区レベル（第1層）に設置した「協議体」の運営を効果的に行うため、あんしんすこやかセンター圏域（第2層）の協議体要素のある「地域ケア会議」に出席し、地域課題の把握等に努めた。

イ 協議体の運営

地域における支え合い活動や介護予防の取り組みを推進することを目的として、生活支援や介護予防に関する地域社会資源や地域課題について把握し、情報共有や意見交換をする場として、医療関係者、介護保険事業者、警察、消防、民生委員児童委員、あんしんすこやかセンター、行政等の代表者で構成する区レベル（第1層）の「地域包括ケア推進会議」に統合する形で運営を行った。実際の事例をもとに、地域での見守りのあり方等についてグループワークを行った。

a) 令和元年度地域包括ケア推進会議

日 時 令和元年 12 月 23 日(月) 13:30～15:00

会 場 兵庫区役所 2 階 大・中会議室

内 容 保健センター、区社協が関わった事例について、グループワークを実施

参加者 推進会議委員 26 名

ウ 生活支援・介護予防サポーターの養成

地域で高齢者の生活を支える多様なサービスの担い手を養成するために神戸市が開催している「生活支援・介護予防サポーター養成研修」の修了者に対し、実際の活動につなげていくための調整を行った。

a) 第7期（令和元年度）生活支援・介護予防サポーター養成研修開催への協力

研修開催日 令和元年 11 月 13 日～令和 2 年 1 月 22 日（全 3 回）

区別交流会 令和 2 年 1 月 22 日 ※研修最終日に開催

フォローアップ研修（新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止）

※ 区別交流会では、ボランティアセンターへの登録案内や、地域活動の紹介を行った。

b) 第2～6期生活支援・介護予防サポーター養成研修修了生の集い開催

開催日 令和 2 年 2 月 12 日（水）10:00～11:45

内 容 1) WAK WAK ウォーキングで Re. フレッシュ

（ボランティアセンターリフレッシュ講座と合同開催）

2) 情報交換会（交流会）

参加者 サポーター4名

④ つどいの場活性化事業

ア ふれあい喫茶スタンプラリーの実施〈新規〉

高齢者が毎日外出するきっかけづくりと、初めての喫茶でも参加しやすくすることを目的に「ふれあい喫茶スタンプラリー」を実施した。

期間：令和元年 10 月 1 日（火）～10 月 31 日（木）

スタンプラリー参加喫茶：25 か所

スタンプラリー周知協力喫茶：4 か所

イ シニア向けはじめの一步ツアーの実施〈新規〉

「今日行くところがみつけられない」「一人では行きづらい」「何かきっかけがあれば出かけられるけど一人では不安」などの思いを持っている高齢者のために、

はじめの一步を踏み出していただくきっかけづくりとして実施した。

- a) 事前学習会の開催 令和元年 8 月 6 日 (火) 15:00~16:30 参加者 : 30 名
- b) ツアー開催期間 令和元 9 月 14 日 (土) ~12 月 13 日 (金) 全 8 回
参加者 : 32 名 ボランティアスタッフ : 23 名
- c) ツアー振り返りの会 令和 2 年 2 月 19 日 (水) 14:00~15:30
参加者 : 30 名

ウ 男の居場所サミットの開催〈新規〉

男の居場所や居場所で活躍されている男性に注目し、活動の広がりを後押しするために実践交流と情報交換の場として開催した。

開催日	令和元年 11 月 25 日 (月) 13:30~15:30
内容	4 団体による事例発表 (平野おとこネットワーク、なかみちこみち、東灘マスターズの会、NPO 法人ワトワーズ多聞台)
講師	コーディネーター Motto ひょうご事務局長 栗木 剛 氏
参加者	38 名

エ TRANS-KOBE×KIITO 連携企画「男・本気のパン教室」新開地への協力〈新規〉

神戸のパン職人からパンづくりを本気で学び、その技術を活かして、地域のイベントなどで活躍するシニア男性チーム「パンじい」を新開地エリアで育成する事業に協力した。あんしんすこやかセンターや高齢者施設等の協力を得て、講習会と自主練習を重ね、成果発表を 2 回行った。

開催日	令和元年 9 月 2 日 (月) ~9 月 29 日 (日)
参加者	6 名
講師	松尾 裕生 氏 (ブーランジェリー・レコルトオーナーシェフ)

(4) コミュニティサポートグループ育成支援事業の推進

地域住民による見守りのグループや、高齢者の支援や介護予防につながる活動に取り組むボランティアグループの結成促進や立ち上げ支援を行う事業を、地域支え合い推進員を中心として推進した。

地域貢献活動を推進する支援 (男の居場所づくり 他)	3 事業
介護予防推進事業の支援 (お出かけ会、体操教室 他)	6 事業
コミュニティづくり推進事業の支援 (茶話会、趣味の会 他)	16 事業

(5) テレホンサポートの実施

電話による「友愛訪問」を希望するひとりぐらし高齢者に対して、ボランティアグループによるテレホンサポートを週 1 回程度実施した。

対象者 25 名

(6) 高齢者情報紙「いきいきタイムズ」の発行

ひとりぐらし高齢者等に対して、より身近な福祉や健康に関する情報や暮らしの情報を提供するため、隔月 (偶数月) に情報紙を発行した。

また、居場所の情報を分かりやすく掲載し、介護予防につながるツールとして発行している。(あんしんすこやかセンターの地域支え合い推進員との共同作成)

(7) 兵庫区医療介護サポートセンター等との連携

区内の保健・医療・福祉に携わる団体・事業者、行政等関係者が集まり、『人生の最

終段階における意思決定とはなにか、アドバンス・ケア・プランニング（ACP）について』を検討し、作成された「私らしく生きるためのノート」の啓発に協力した。

また、兵庫区医療介護連携推進協議会にも参加し支援方策を検討した。

3. 障がい者福祉の推進

(1) 障がい者サロン「ハートンサロン」の開催

障がいの種別によらず、障がいのある方が気楽に集まり、情報交換やふれあい交流を図る機会とするため、兵庫区福祉団体連合会と連携・協力して、隔月に開催した。

日 時 平成31年4月11日（木）～ 令和2年2月8日（土） 10:00～11:40
（偶数月に開催、1年間で6回）

会 場 兵庫区役所2階 みなとがわホール（8月は総合福祉センターで実施）

内 容 4月 神戸ヤクルト「おなか元気教室」

6月 笑いヨガ

8月 「夏休みこども福祉体験」参加児童との交流プログラム

10月 「互いの障がいへの理解を深めよう！」

12月 クリスマス会（バルーンアート・児童館すこやかクラブ親子との交流）

2月 「障がい者スポーツ」体験プログラム

延参加者 320名

(2) 障がい者団体・障がい福祉サービス事業所等の活動支援

障がい者の社会参加の促進を図るために、共同募金や善意銀行などの財源を活用し、障がい者団体の社会参加等の行事や区内の障がい福祉サービス事業所の交流事業等に経費助成を行うとともに活動支援を行った。（詳細は、Ⅱ-3 民間社会福祉財源の充実と活用の項を参照）

(3) 兵庫区自立支援協議会への参画

障がい者が住みなれた地域で安心して暮らせるための支援方策を協議する「兵庫区自立支援協議会」に参画し、他団体との連携を図りながら事業推進に協力した。

協議会参加団体 59団体（令和2年3月末現在）

① 運営委員会

関係機関・団体、各作業部会代表者等で構成される運営委員会に参画し、自立支援協議会の運営全般に関する協議を行った。

日 時 令和元年4月16日（火）、6月20日（木）、12月19日（木）、
令和2年2月20日（木）

② 防災を考える部会

部会活動の企画・実施に参画するとともに、災害時、障がい者の安否確認や避難支援を円滑にするために開催されたひよどり地区の「ふれあいワークショップ」に参加・協力した。

日 時 令和元年6月25日（火）、8月27日（火）、10月29日（火）、
令和2年1月21日（火）

川池地区防災ワークショップ 令和元年12月6日（金）

令和2年2月21日（金）

(4) 手話入門講座の開催

聴覚障がい者への理解を深め、手話通訳ボランティアとなるための初歩的な技術を身につけることを目的として開催した。

期 間 令和元年 5 月 15 日(水) ～ 7 月 24 日(水) 18:30～20:30 計 21 回
会 場 兵庫公会堂第 2 集会室ほか
参加者 受講申込 21 名 修了者 18 名 *H4 年度からの延修了者数 503 名
協 力 兵庫区聴力言語障害者福祉協会、手話通訳グループ「葦の会」

(5) 手話体験出前講座

※事業は予定していたが、申込みなく実績なし

(6) つどいの場活性化事業〈新規〉

障がい者と健常者や高齢者と子どもの交流を図るために、子どもから大人まで世代を問わず楽しめる障がい者スポーツ体験を株式会社デンソーテンの協力を得て開催した。

障がい者スポーツを体験しよう！楽しもう！

日 時 令和 2 年 2 月 1 日 (土) 10:00～14:00
場 所 株式会社デンソーテン体育館
内 容 a) ボッチャ
b) 競技用車椅子を使ったゲーム
参加者数 70 名

4. 児童の健全育成と子育て支援の推進

(1) 児童館の管理運営および運営支援

区内市社協運営の 4 児童館、4 放課後児童クラブ、1 放課後こどもひろばの管理運営および他法人運営の 4 児童館、1 放課後児童クラブの運営支援を行った。

① 令和元年度 区社協受託児童館の利用状況 (R2 年 3 月末開館日数：290 日。ただし、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため 3/3～は放課後児童クラブのみ開設)

児童館名	年間利用者数	一日平均	放課後児童クラブ登録児童数※
湊川児童館	19,128人	65.5人	68人 (6年生まで)
中道児童館	20,194人	69.2人	59人 (6年生まで)
下沢学童保育コーナー	9,858人	33.8人	49人 (6年生まで)
御崎児童館	15,964人	55.0人	39人 (6年生まで)
和田岬学童保育コーナー	9,136人	31.3人	39人 (6年生まで)
和田岬っこゆうゆうひろば	3,188人	17.1人	※開設日数 186日
兵庫児童館	20,531人	70.3人	48人 (6年生まで)
兵庫大開学童保育コーナー	12,068人	41.3人	58人 (6年生まで)
兵庫大開羽坂学童保育コーナー	5,759人	19.7人	32人 (2年生まで)
合 計	115,826人	403.2人	392人

※1 放課後児童クラブ登録児童数は令和 2 年 3 月現在の数

※2 放課後児童クラブの実施時間は、全館・コーナーとも 19:00 まで延長実施

※3 兵庫大開羽坂学童保育コーナーは、平成 31 年 4 月 1 日開設

〈参考〉他法人運営児童館

児童館名	年間利用者数	一日平均	放課後児童クラブ登録児童数
雪御所児童館	25,371人	87.5人	76人
平野児童館	20,533人	70.8人	69人
夢野児童館	18,409人	63.5人	118人
松原児童館	16,954人	58.1人	41人
明親学童保育コーナー	14,415人	49.4人	72人

② 職員研修会の開催

ア 指導員研修

日時	内容	会場	参加者
5月22日(水)	こどもが楽しく過ごせる工夫 (遊びを通じて子どもを育てる)	兵庫区役所 別館講堂	9人
10月4日(金)	児童館論 改正児童館ガイドライン	兵庫区役所 801会議室	9人

イ 放課後児童支援員研修

日時	内容	会場	参加者
6月5日(水)	放課後児童クラブの遊びを考える	兵庫区役所 第2・3会議室	21人
11月7日(木)	ゆったり楽しい 魔法のコミュニケーション術	兵庫区役所 801会議室	23人

ウ 交流体験研修（放課後児童支援員対象）

内容 放課後児童クラブの1日交流体験

日時 令和元年10月～11月

場所 区内児童館及び学童保育コーナー

参加者 区内放課後児童支援員 12名

① 巡回相談・支援

子育てコーディネーターが、神戸市立の区内児童館・学童保育コーナーに出向き、巡回相談・運営支援（事業など全般13回、その他個別支援）を行った。

(2) およこふらっとひろば兵庫の運営〈新規〉

令和元年8月より、兵庫区役所およこふらっとひろば兵庫の運営を受託し、おおむね0歳から2歳の子どもと保護者の居場所として、保育士等の有資格職員2名を常時配置し支援を行った。

① 平成元年度利用状況(令和元年8月13日～令和2年3月2日開室日数：132日)

0～2歳	3歳以上	大人	ボランティア	見学 その他	年間利用者数合計	一日平均
3,481人	132人	3,527人	28人	471人	7,639人	57.9人

② 保護者向け講座の実施

開催日	講座名	参加人数
9月4日	聞いてみよう！兵庫区の幼稚園・保育園情報	30組 60人
9月26日	イザ！という時の離乳食づくり	27組 54人
10月10日	0・1歳児のおもちゃの選び方	34組 70人
11月7日	聞いてみよう！子どもの靴選び講座	17組 36人
12月6日	あなたがはぐくむ命の story～伝えるべき生と性のはなし～	11組 22人
1月28日	聞いてみよう！今だからできるあなたの好き❤️	8組 16人
3月4日	Lifeいのち「うまれる」こと再体験 上映会・ミニコンサート	新型コロナウイルス感染症 拡大防止のため中止

③ 座談会の実施

専門家(助産師)が乳幼児の保護者の相談に応じることにより、虐待防止を図り、ひろば職員と連携して支援体制を作った。5回実施、47組 100人参加。

④ イベントの実施

ア 主任児童委員と連携した「ハートンママカフェ」4回実施、68組 142人参加。
イ 「使わなくなった子ども服交換会」2回実施 119人参加。
ウ その他、ふらっとひろば応援隊の自主事業、地域子育て支援センター兵庫との連携事業を実施。

(2) ひろがれ★あそび心事業の実施

児童館合同行事として、「はっぴいひろば」(令和元年5月18日(土)湊川公園にて開催)および「兵庫っ子にこにこフェスティバル」(令和元年10月23日(水)みなとがわホールにて開催)に参加し、児童館事業のPRを行った。

(3) 子育てコミュニティ育成事業の推進

地域が主体的に子どもの健全育成を図ることを目的に、各児童館単位で各種団体によって構成された開放委員会(子育てコミュニティ推進委員会)が、日・祝日に児童館などを活用して、児童館の自由開放や季節イベント、各種まつり、工作教室、防犯教室、川遊びなどの行事を実施した。(新型コロナウイルス感染拡大防止のため、3月は未実施)

実施状況：4児童館実施

行事開放 23回、自由開放 1回、開放委員会 6回

(4) 地域での子育て・親育ち応援プログラムの推進

① 児童館における子育て専門相談事業〈新規〉

内 容	児童館の親子プログラムの中(2時間程度)で、助産師及び保健師・臨床心理士が子育て専門相談を実施する。
日 時	平成31年4月～令和2年3月
回 数	80回(各児童館月1回・8月を除く)
場 所	兵庫区内8児童館
協 力	こども家庭支援課こども保健係、一般社団法人親子支援ネットワーク協会

相談件数 546件（うち26件はこども保健係に引き継ぎ）

② はじめのいっぽツアー〈拡充〉

内 容 チラシ等で広報する指定場所に集合した乳幼児親子を、支援者が地域のつどいの場に案内し、つどいの場のスタッフと保護者を繋ぐとともに、保護者間の交流を促進した。

日 時 令和元年6月～12月

回 数 16回（新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、3月の2回は中止）

場 所 地域福祉センター、児童館、保育所園等

協 力 こども家庭支援課こども保健係、地域子育て支援センター兵庫、まち育てサポーター、一般社団法人親子支援ネットワーク協会

参加者 大人129人・子ども142人

③ 子ども「防犯ウォッチ」事業

日 時 令和元年7月～令和2年3月（新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、3月中の2ヶ所は中止）

場 所 区内保育所園・こども園・児童館等

内 容 児童館の小学生が大型紙芝居と兵庫防犯ウォッチ体操で保育所5歳児を対象に防犯力を高めるプログラムを実施する。

参加者 保育所園児・小学生・保育士などスタッフ含め436人

④ 出前親子館事業「ハートンママカフェ」※地域福祉センター等実施分

目 的 保護者同士の交流や子育てのストレス解消

日 時 令和元年7月～8月 10:00～12:00 7回実施

会 場 入江、夢野、湊山、中道、浜山、平野、水木各地域福祉センター等

内 容 ふれあい喫茶ママカフェの運営、主任児童委員活動の紹介
地域の子育て活動紹介 など

参加者 131人（親子60組） 主任児童委員ほかスタッフ延べ77人

⑤ 子どもの居場所づくり支援事業

ア 居場所づくり事業助成（対象：児童館）

目 的 児童館を拠点として、子ども達の孤食を防止し、会食コミュニケーションを促進したり、ボランティア活動によって子ども達が地域の方々の役に立つ喜びを感じる活動をしたりし、新たな地域の交流の場づくりをする

日 時 夏休み以降 平日及び土曜日など

内 容 a) 子ども達が運営する地域の方や子ども達のための「こども喫茶」
b) 放課後児童クラブ登録児童以外の子ども達のための「こどもおべんとうひろば」

実施館 a) こども喫茶：御崎・雪御所児童館
b) こどもおべんとうひろば：湊川・兵庫・御崎・雪御所・夢野児童館（※中道児童館は市社協事業として実施）

参加者 a) こども喫茶 4回実施 大人155人、子ども111人 計266人
b) こどもおべんとうひろば 161回実施 延227人

イ 区内の「神戸市子どもの居場所づくり事業」補助金交付団体の支援 子どもの居場所交流会の実施

目 的 兵庫区内子どもの居場所の交流・課題解決策の共有

内 容	兵庫区中央区合同「子どもの居場所づくり講演会&交流会」 ～子どもの居場所のために大切にしたいこと～
会 場	兵庫区役所中大会議室
日 時	令和 2 年 2 月 18 日(火)14:00~16:00
参 加 者	15 団体 37 人参加

⑥ 子育て情報紙「おててつないで」の発行

子育て家庭に対して、身近な子育て支援情報を提供するため、兵庫区を 3 エリア（北部、中部、南部）に分け、毎月 1 回子育て情報紙を発行した（地域子育て支援センター兵庫、兵庫区子育て支援室、まち育てサポーターとの共同作成）。

また、区社協ホームページ・Facebook・PIAZZA にも掲載し情報の提供を行った。

配 布 先	区内の児童館、保育所、地域福祉センターなど
発行部数	2,100 部（北部、中部、南部エリア別に年間 11 回発行）

5. 相談・援助事業の推進

(1) 生活福祉資金貸付事業の実施

低所得世帯・障がい者世帯・高齢者世帯等の経済的自立、在宅福祉の推進と社会参加の促進、地域社会での安定した生活を図るため、資金の貸付相談対応及び受付業務を実施した。

また、令和 2 年 3 月 25 日から新型コロナウイルス感染症の影響を受け、休業等による収入の減少等があり、緊急かつ一時的な生計維持のための費用の貸付を行う緊急小口資金及び総合支援資金の新型コロナウイルス特例貸付の相談・受付を行った。

貸付資金種類	相談件数	申込件数	貸付件数	貸付決定金額
教育支援資金	1,304 件	41 件	41 件	28,584,200 円
福祉資金	1,189 件	9 件	9 件	1,417,000 円
緊急小口資金	140 件	10 件	10 件	805,000 円
総合支援資金	23 件	0 件	0 件	0 円
緊急小口資金（特例）	246 件	44 件	9 件	1,500,000 円
総合支援資金（特例）	6 件	0 件	0 件	0 円
合 計	2,908 件	104 件	69 件	32,306,200 円

※ 1 貸付資金の交付・償還は、兵庫県社会福祉協議会にて実施。

※ 2 貸付件数および貸付決定金額は、貸付決定後、進学校変更により貸付不要になった金額（2,015,200 円）を除く。

※ 3 緊急小口資金（特例）は、申請受理日の関係で貸付決定が翌年度になったものがあり申込件数と貸付決定件数に差がある。

(2) 心配ごと相談所の運営

相談員は、民生委員児童委員 16 名で構成し、さまざまな相談を受けるとともに、各種制度や関係機関の紹介などの情報提供を行った。（新型コロナウイルス感染症拡大防止のため 3 月は中止）

相 談 日： 毎月第 1・3 金曜日 13:30～15:30 兵庫区役所内


相談件数： 23 件

(3) 成年後見制度手続き相談室の実施

神戸市社会福祉協議会から派遣される相談員(市民後見人候補者)が、制度の概要および利用手続き等の説明・相談を行う相談室を実施した。

相談日： 毎月第4金曜日 13:30～15:30 兵庫区役所内

相談件数： 5 件

 **(4) 車いす貸出事業の実施**

在宅生活等で一時的に車いすが必要な区民に貸し出した。(3 か月単位、最長1年)

保有台数 87 台 (区社協 49 台、地域福祉センター設置台数 38 台)

延利用件数 170 件 (区社協 93 件、地域福祉センター 77 件)

II 地域で支える福祉の心づくり、人づくり

1. 福祉教育の推進

(1) 「やさしさと思いやり」教育の推進支援事業

① 小・中学校が実施する福祉教育や地域学習の支援

区内の小・中学校に対し、福祉教育や地域学習の企画・実施を働きかけるとともに、事業費助成により各校の取り組みを推進した。

実施内容 地域行事への参加や学校行事への招待等を通じた地域住民とのふれあい交流、地域の清掃活動への参加、老人ホームへの訪問活動など

実施校 小学校 8 校、中学校 5 校、特別支援学校 1 校

② 福祉啓発プログラムの実施

中学生を対象として、「認知症」、「防災」、「地域福祉活動」、「社会保障」をテーマとした福祉啓発プログラムを提示し、希望校において実施した。

ア 認知症（ジュニア認知症サポーター養成講座）

実施内容 認知症の基礎知識の講習や独自作成したビデオ教材の視聴、グループワークを通して、思いやりをもって高齢者を理解し、自分の立場でできることについて考える学習プログラムを提供した。

実施校 1 校 113 名（湊川中学校 2 年生 113 名）

イ 防災

実施内容 災害対応カードゲーム（クロスロード）を用いて、災害時の備えや自助・共助への理解を深めるプログラムを実施した。

実施校 1 校 109 名（夢野中学校 2 年生 109 名）

ウ 地域福祉活動

実施内容 地域活動実践者からの話を聞くなどして、職業人や家庭人であると同時に「地域の一員」としての役割があることを知り、自分自身の進路や将来像について考えるきっかけとした。

実施校 1 校 118 名（湊川中学校 1 年生 118 名）

エ 社会保障

実施内容 日本年金機構、区保険年金医療課、神戸公共職業安定所の協力を得て作成したビデオ教材を用い、『社会保障』に関心を持つきっかけの場を提供するとともに、『福祉とは誰かが誰かを支える一方通行の取り組みではなく、相互に支えあい、自らが支えられる側でもあること』の理解を一層深めてもらう機会とした。

実施校 3 校 366 名（兵庫中学校 2 年生 150 名、湊川中学校 3 年生 126 名、夢野中学校 3 年生 90 名）



(2) 夏休み子ども福祉体験の開催

夏休みに小学生を対象として、簡単な手話を学ぶ（第 1 日）とともに、高齢者や認知症について学ぶプログラム（第 2 日）、障がい者サロン「ハートンサロン」への参加と交流（第 3 日）を通して、障がい者への理解を深めることを目的として開催した。

日 時	第1日：令和元年7月27日（土）10:00～12:00 第2日：令和元年7月29日（月）10:00～12:00 第3日：令和元年8月3日（土）9:30～12:00
会 場	兵庫公会堂 大集会場、神戸市立総合福祉センター
参加者	第1日：22名 第2日：18名 第3日：19名

2. ボランティア活動の推進

(1) 兵庫区ボランティアセンターの運営

① ボランティア登録・相談

ボランティア登録	個人	323名
	団体	206グループ（26,819名）
ニード（依頼）件数	131件	
紹介（マッチング調整）件数	125（236）件	

② ボランティア活動の支援

ア ボランティアルームの運営（ボランティアの活動場所の提供：荒田公園内及び兵庫区役所3階）

ルーム貸出回数 108回

イ 機材の貸し出し

機 材 名	保 有 数	貸 出 実 績	
高齢者疑似体験グッズ	5セット	3件	10セット
妊産婦疑似体験グッズ	3セット	5件	15セット
新生児抱き人形	1体	3件	3体
アイマスク	39枚	1件	2枚
視野狭窄メガネ	10本	0件	0本
白杖	10本	1件	2本

ウ ボランティア保険等の受付

a) 兵庫県ボランティア・市民活動災害共済の受付 431件

b) 兵庫県ボランティア活動等行事用保険の受付 155件

エ ボランティアグループへの活動助成

a) 県民ボランティア活動助成のエントリー受付 85件

b) 県民ボランティア活動助成金交付申請書の書き方相談会

日 時 令和2年3月3日（火）・5日（木）10:00～15:00

会 場 兵庫区役所4階 ミーティングスペース

参加者 4名

(2) 各種研修会・講座等の開催

① ボランティア入門講座

ア ボランティア入門カフェ

ボランティア活動を始めてみたいと考えている方を対象に、ボランティア入門講座を実施した。カフェスタイル形式で気軽に参加できる場づくりをした。また、

毎月開催にすることで、いつボランティア登録、相談に来られても、すぐに案内できるよう工夫し、実際の活動に結びつけやすくした。

日 時 毎月第3水曜日 11:00~12:00
会 場 兵庫区ボランティアルーム
受講者数 年間 20名

イ ボランティアオンライン入門講座～5分でわかる！ボランティア入門講座～〈新規〉
入門講座の動画を製作し24時間いつでもどこでも受講可能なオンライン講座を開講することで活動者の間口を広めた。

配 信 日 令和元年12月23日(月)
内 容 a) 社協って？ボランティアセンターって？「我こそは平清盛!」の巻
b) ボランティア活動3つの役割「僕はいつだって全開だ!」の巻
c) ボランティアセンター機能と役割「登録と参ろうか!」の巻
出演協力 神戸・清盛隊(平清盛、GION)
再生回数 1,492回(令和2年3月31日時点)

② グループ向けパワーアップ講座～イマドキの60歳代を巻き込む会～

地域組織やボランティア団体との関係づくりを進めるとともに、高齢化によるグループの若返りや、最新の運営方法を学ぶ機会を提供し、実際の活用に結びつけた。

日 時 令和2年2月21日(金) 13:30~15:40
会 場 みなとがわホール
講 師 栗木 剛 氏(mottoひょうご事務局長)
参 加 者 14名

③ 災害ボランティア研修〈拡充〉

最新の災害現場や減災の取り組みについて知り、地域への伝達者(ボランティア)として災害に対応する知識と実践者の思いを知り災害対応力の向上を目的に開催した。

テ ー マ 「被災者中心の支援に取り組む7人の物語
～取り組むあなたとほんとは何かしたいあなたへ～」
日 時 令和元年6月16日(日) 13:00~16:40
会 場 兵庫公会堂大集会場
内 容 第一部「参加のイロハ～続けるベテランとはじめたワカモノの物語～」
実践報告：黒田 崇 氏(神戸ユニバーサル研究会代表)
森永 日奈子 氏・太田 明日香氏
(特非)ワカモノヂカラプロジェクト副代表)
第二部「屋根上と床下の話～見えにくい場所に潜む課題に向き合う物語～」
ワークショップ：〈床下〉
頼政 良太 氏(被災地NGO協働センター代表)
吉田 信昭 氏(縁の下のもぐら代表)
〈屋根上〉
中村 伸一郎 氏(手作り家具工房GAKU代表)
第三部「日常活動と災害ボランティア
～活動から生まれた知恵とご縁の物語～」
実践報告：荒井 勳 氏(ひまわりの夢企画代表)
大西 理香 氏(ナチュラルアイシングクッキー

参加者 75名

④ リフレッシュ講座・交流会

高齢化してきているボランティア活動者に対し、歩き方のプロからコツを学ぶことで、心と体のリフレッシュを図るとともに、ボランティア同士の交流を深めることでボランティア活動のモチベーションを高め、より活発に継続して活動ができるよう支援した。

日 時 令和2年2月12日(水) 10:00~11:45
 会 場 みなとがわホール
 講 師 URIBOO 代表 谷川原 光彦 氏 (健康運動指導士)
 URIBOO 所属 嵩 亜希子 氏 (助手)
 参加者 47名

(3) 地域貢献的居場所づくり

ボランティア活動希望者のうち、他団体の活動や個人の生活を支える活動を望んでいない方や初めてのボランティア活動に不安を持つ方を対象に、平成30年5月より公益的な活動を毎月1回定例的に実施する場「さんぼみちクラブ」を設定した。この活動は、就学や就職、地域参加へのきっかけといった長期的な目標にこだわらず、ボランティア活動への参加を通じて自己肯定感や自己有用感の向上を目指して実施した。

具体的には、①古切手の整理、②フードドライブ食糧の仕分け、③チラシ・リーフレット折り、④共同募金資材の袋詰め、⑤あんしんノート製本テープ貼付、⑥友愛訪問ハンドブック封筒詰め等の作業を行った。

日 時 毎月第3水曜日 13:00~14:00
 会 場 兵庫区ボランティアルーム
 延参加者 59名

3. 民間社会福祉財源の充実と活用

(1) 共同募金運動の推進

赤い羽根共同募金・歳末たすけあい募金運動に協力するとともに、共同募金を財源として福祉啓発事業や民間福祉活動への助成等の事業を行った。



① 赤い羽根共同募金

募金実績額 8,358,800円
 地域配分金額 6,474,566円 (前年度募金実績額に応じた兵庫区への配分)

実施事業の内容	件数等	金額	備考
福祉関係団体の活動支援	17団体	2,308,880円	社会福祉関係団体
情報提供活動の推進	1件	776,101円	さんぼみちの発行
つどいの場活性化事業	53件	692,835円	障がい福祉サービス事業所、子育てサロン等 50 件 障がい者スポーツ交流会、はじめの一步ツアー(子育て・高齢者)

啓発活動の推進	1件	115,286円	はっぴいひろば
地域見守り活動の推進	1件	387,273円	あんしんカレンダー作成
こども福祉体験	1件	193,326円	
車いす貸出事業	1件	268,601円	
ハートンサロン事業	1件	193,897円	
世代間交流事業の推進	2件	60,616円	公立保育所、児童館
子どもの居場所応援団プロジェクト	9件	567,092円	子ども食堂、学習支援団体等 (期間拡大募金事業)
返還金	—	910,659円	次年度繰越金
計	87件	6,474,566円	



② 歳末たすけあい募金

〈収入〉 前年度繰越金	103,131 円	〈支出〉 配分金額	2,004,996 円
募金実績額	2,370,390 円	募金事務費	220,000 円
合計	2,473,521 円...A	合計	2,224,996 円...B
次年度繰越金	248,525 円 (A - B)		

実施事業の内容	件数等	金額	備考
年末年始地域見守り事業	7,800冊	199,238円	ひとりぐらし高齢者へ あんしんカレンダー配布
地域子育てサロン年末年始特別事業	13団体	185,000円	
子どもの居場所年末年始特別事業	1団体	10,000円	子どもの学習支援事業、
高齢者の居場所年末年始特別事業	32団体	1,123,758円	ふれあい給食活動、地域拠 点型一般介護予防事業
施設入所者年末年始特別事業	9施設	142,500円	児童養護施設、母子生活支 援施設、精神障がい者グル ープホーム、救護施設、更 生保護施設
障がい福祉サービス事業所年末 年始特別事業	20施設	244,500円	
障がい者団体年末特別事業	5団体	100,000円	
計	81件	2,004,996円	

(2) 善意銀行の運営

広く区民から、金銭・物品等の善意の預託を受け、これを区内の地域福祉向上の取り組みや事業を行う社会福祉団体や地域福祉活動グループ等への払い出しを実施した。

① 預託

ア 金銭 22件 450,811円

イ 物品 8件（預託内容は払出の部を参照）

② 払出

ア 公募による事業助成

団体名	助成対象事業名	金額
ガールスカウト兵庫県第11団	中高生インタレストプロジェクト	200,000円
神戸市兵庫区母子福祉会	母と子の集い	30,000円
誕生日ありがとう運動本部	1人でも大丈夫クッキング！！	47,840円
兵庫地区青少年育成協議会	兵庫区青少年を地域で讃える賞表彰式	200,000円
	4件	477,840円

イ 物品払出

品目	払出先
米	浜山こどもクッキングクラブ、NPO 法人社会還元センターグループわ ひゅうまんグループ、水木子育てサロン 3件
車いす (2台)	社会福祉協議会 1件
五月人形	夢野児童館 1件
日用雑貨	重度心身障害児(者)父母の会 1件
掛け時計	社会福祉協議会 1件
切手・往復はがき	一般社団法人神戸市手をつなぐ育成会 兵庫支部、社会福祉法人いかり いかり共同作業所 2件
ディスポキャップ (100枚)	社会福祉協議会 1件
計	10件

③ フードドライブ事業

一般家庭や食品関連企業等から大量に食品ロスが発生している一方、食品を必要とする生活困窮者（世帯）の実態がある等、食品ロスの活用を通じて、身近な地域における支え合いの仕組みづくりにつなげることを目的として善意銀行事業の一環として実施した。

また、広報活動を主に小学生やその保護者を対象として広報活動を行い、環境教育や食育の一環として食品を無駄にしない心が培われることをねらいとした。

ア 余剰食品の回収

区や地域のイベントにおいて、「もったいない！を、ありがとう♥にかえよう！！」をキャッチフレーズに、家庭等に眠っている食品を持ち寄ることを呼びかけ、余剰食品の回収活動を実施した。

実施日	場 所	行 事	寄せられた食品
元.5.18	湊川公園	はっぴいひろば	米、乾麺（うどん・蕎麦・パスタ）、缶詰、レトルト食品、調味料、飲料、カレー、焼菓子他 (計 21.7kg)
元.7.13	浜山小学校	浜山ふれあい夏まつり	
元.7.27	会下山小学校	会下山 WaiWai 夏まつり	
元.7.27	兵庫大開小学校	兵庫大開夏まつり	
元.8.18	神戸祇園小学校	平野盆おどり大会	
元.8.24	笠松商店街	下町ふれあい夏まつり	
元.9.29	新川運河キャナルプロムナード	兵庫運河祭	

イベント以外の個別提供・・・兵庫区民より、米、菓子、レトルト食品、みそ汁、飲料 他 計 71 kg 合計 92.7 kg

イ 食品の提供

- a) 子どもの学習支援の場や子ども食堂、浜山こどもクッキングクラブ、児童福祉施設等
- b) 既存制度で対応できない生活困窮の方
生活福祉資金の相談者で貸付対応や他の既存制度で対応できなかった方で、緊急的に食糧支援が必要な方を対象として、地域福祉ネットワーク事業との連携により食品を提供した。
支援に当たっては、食品の提供だけを目的とするのではなく、生活の立て直しや家計相談の契機として実施した。
食品提供世帯数 16 世帯
食品提供数 約 145 日分

4. 啓発事業

「やさしさと思いやりのまち 兵庫」を目指して、子どもたちが様々な人々とふれあい、人を思いやる心を育むよう、様々な機会を通して福祉教育の推進を図るとともに、各種のイベントや講演会等を通じて、福祉に対する区民の意識向上に努めた。

(1) 「やさしさと思いやりのまち 兵庫」の推進


① 神戸まつり「はっぴいひろば」への参加〈拡充〉

「やさしさと思いやりのまち 兵庫」の推進事業の一環として、区内の地域福祉団体や社会福祉施設・団体事業所、健康・保健等関係機関の活動を広く区民に紹介し、福祉・健康について啓発する機会として、はっぴいひろばの会場において「福祉・健康コーナー」の運営支援を行った。

また、ともに生きる福祉のまちづくりをめざし、「思いやり」「譲り合い」「助け

合い」等の福祉の心を伸ばして育て、ボランティア活動等福祉活動の実践につないでいこうとする市民運動である「ふれあいのまち KOBE・愛の輪運動」の展開や、赤い羽根共同募金、善意銀行、フードドライブ事業の広報・啓発を目的として出店参加した。

日 時 令和元年 5 月 18 日 (土) 11:30~18:00
会 場 湊川公園
来場者 約 50,000 人

 ② ハートンふれあい作品展
新型コロナウイルス感染拡大防止のため延期

5. 区社協事業の広報、福祉情報の提供

インターネットや広報紙を活用して福祉活動に役立つ情報を区民に提供し、福祉活動の活性化を図るとともに、区社協事業への協力やボランティア活動への参加を区民一人ひとりに呼びかけるために、広報活動を行った。

(1) ホームページの運営(URL : <https://hyogoku-shakyo.or.jp/>)


JIS 規格の「高齢者・障害者等配慮設計指針」の達成等級 AA に準拠し、心身の機能や利用する環境に関係なくホームページで提供されている情報やサービスを利用できること(ウェブアクセシビリティ)に配慮したホームページを運営し、事業の取り組み状況の報告や、イベント、講座・研修等の開催案内などの情報を適宜更新し発信した(スマートフォン対応済)。

(2) フェイスブックの運営 (@hyogokushakyo)

区社協の Facebook ページを通じて、ホームページ同様の情報提供を行った。

(3) ツイッターの運営 (@hyogo_shakyo)

区社協の Twitter を通じて、ホームページ同様の情報提供を行った。

 (4) 区社協機関紙「さんぽみち」の発刊

発行回数 年 2 回 (4 月、10 月)
発行部数 66,300 部/回 (区内全戸配付)

Ⅲ 会 議 等

1. 兵庫区社協関係

会議名	開催日	会 場	議 事 内 容
第1回 理事会	元.6.6	兵庫公会堂	1. 平成30年度事業報告について 2. 平成30年度収支決算報告について 監事監査報告 3. 令和元年度収支補正予算について 4. 評議員選任候補者の推薦について 5. 定時評議員会の招集について 6. 理事及び監事の選任候補者について 〈報告〉 1. 理事長の職務執行状況について 2. 「おやこふらっとひろば 兵庫」の応募及び「兵庫駅前子育てひろば」について 3. 第三者委員の選任について 4. 事務局組織について
定時評議員会	元.6.27	兵庫公会堂	1. 平成30年度事業報告について 2. 平成30年度収支決算報告について 監事監査報告 3. 令和元年度収支補正予算について 4. 理事及び監事の選任について 〈報告〉 1. 「おやこふらっとひろば 兵庫」の応募及び「兵庫駅前子育てひろば」について 2. 第三者委員の選任について 3. 事務局組織について
第2回 理事会	元.6.27	兵庫公会堂	1. 理事長・副理事長の選定について 2. 顧問の選任について 3. 評議員選任・解任委員の選任について
第3回 理事会	2.3.13 (決議の 省略成 立日)		1. 令和元年度収支補正予算について 2. 令和2年度事業の受託契約について 3. 令和2年度事業計画について 4. 令和2年度収支予算について 5. 評議員選任候補者の推薦並びに評議員選任・解任委員会の招集について 6. 評議員会の招集及び評議員会における決議事項について 〈報告〉 1. 理事長の職務執行状況について 2. 事務局規程の一部改正について 3. 今後について

会議名	開催日	会 場	議事内容
第2回 評議員会	2.3.26 (決議の 省略成 立日)		1. 令和元年度収支補正予算について 2. 令和2年度事業計画について 3. 令和2年度収支予算について (理事会の報告) 1. 令和2年度事業の受託契約について (報告) 1. 事務局規程の一部改正について 2. 今後について
第1回正副理事長会	元.5.30	区役所会議室	理事会の議案について
第1回評議員選任・ 解任委員会	元.6.6	兵庫公会堂	評議員の選任について
第2回評議員選任・ 解任委員会	2.3.16	区役所会議室	評議員の選任について
児童館運営委員会	元.6	区内各児童館	区内8児童館運営委員会 (6月19日～6月28日)
善意銀行運営委員会	元.6.6	兵庫公会堂	1. 平成30年度事業報告について 2. 平成30年度決算について 3. 令和元年度事業計画について 4. 令和元年度予算について 5. 令和元年度公募助成審査について

2. 監査 等

監査名等	実施日	監査者 等	内 容
監事監査	元.5.24	監事	平成30年度法人運営・業務執行状況、会計・決算について

3. 本会役職員が出席した会議等

会 議 名	開催日	会 場
神戸市社会福祉協議会 理事会	元.6.10	神戸市立総合福祉センター
	元.6.25	こうべ市民福祉交流センター
区社協役員協議会	元.11.26	ANAクラウンプラザホテル神戸
神戸市社会福祉大会	元.9.12	神戸文化ホール 大ホール
新春福祉関係者のつどい	2.1.10	ANAクラウンプラザホテル神戸
兵庫区老人クラブ連合会総会	元.5.23	兵庫公会堂
兵庫区医師会定時総会	元.6.8	ホテルオークラ神戸
神戸市制百三十周年記念式典	元7.27	神戸新聞松方ホール
兵庫区新年のつどい	2.1.9	みなとがわホール
兵庫区老人クラブ連合会新年会	2.1.22	みなとがわホール

令和元年度事業報告の附属明細書

令和元年度事業報告には、社会福祉法第 45 条の 28 に規定する附属明細書「事業報告に内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

社会福祉法人神戸市兵庫区社会福祉協議会